

News Release

2020年5月28日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

屋内で起こる高齢者の転倒・転落事故を防ぐ ～関東甲信越における事故を中心に～

1. 関東甲信越地方の高齢者が被害者となった屋内の事故

(1) 年度別事故発生件数と被害状況

2010年度から2019年度までの10年間でNITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生した高齢者^{※2}が被害者となった屋内の事故は計232件^{※3}ありました。高齢者が被害者となった屋内の事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3、転倒・転落事故34件について、製品ごとの事象別事故発生状況を表4に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 WHO（世界保健機関）が定義する高齢者（65歳以上）を対象として、集計、分析を行った。

※3 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
事故発生年度	2010年度	1		5	6	4	8		1	3		28
	2011年度	3	1	6	6	4	6		2	2		30
	2012年度			2	1	3	12	3	2	3	2	28
	2013年度		6	6	3	2	3	1	2			23
	2014年度	1	3	7	4	2	8		1	1		27
	2015年度	1	3	5	4	4	4		2			23
	2016年度		3	5	5	3	5		1		1	23
	2017年度	1	1	2	5	4	4			1		18
	2018年度		1	3	6	1	3		1	2	1	18
	2019年度		1	4	2	1	3		1	2		14
合計		7	19	45	42	28	56	4	13	14	4	232

表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
被害状況	死亡	2	6	16	12	6	7	1	2	5		57
	重傷	3	4	9	17	8	18	3	5	5	3	75
	軽傷	2	9	20	13	14	31		6	4	1	100
合計		7	19	45	42	28	56	4	13	14	4	232

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの		2	3	3	6	6		2			22
	B 製品および使い方に問題があったもの	2		3	3		4					12
	C 経年劣化によるもの			1								1
	G3 製品起因であるが、その原因が不明のもの	1					1					2
	小計	3	2	7	6	6	11	0	2	0	0	37
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの			1	2	1				1	1	6
	E 誤使用や不注意によるもの		4	5	13	4	13					39
	F その他製品に起因しないもの	2	2	12	10	8	13	3	6	5	1	62
	小計	2	6	18	25	13	26	3	6	6	2	107
その他	G 原因不明なもの	2	9	15	5	8	14	1	3	5	1	63
	H 調査中のもの		2	5	6	1	5		2	3	1	25
	小計	2	11	20	11	9	19	1	5	8	2	88
合計		7	19	45	42	28	56	4	13	14	4	232

表 4. 製品ごとの事象別事故発生状況

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
転倒	手すり			1	2	1	1					5
	いす	1		1	2		1					5
	運動器具			1		1			1	1		4
	踏み台			1	1	2						4
	家具					1	1					2
	車いす						1				1	2
	歩行器・歩行車					1	1					2
	窓								1			1
	ドア						1					1
	バルコニー					1						1
	ポータブルトイレ								1			1
	介護ベッド								1			1
	机・テーブル						1					1
	洗剤 (床用)						1					1
	浴槽									1		1
転落	家具	1										1
	移動用リフト						1					1
総計		2	0	4	5	7	9	0	4	2	1	34

(2) 関東甲信越地方において発生した転倒事故の事例

① いすによる事故

- ・ 2011年7月、東京都、軽傷

(事故内容)

浴室用いすの足が折れて転倒し、打撲を負った。

(事故原因)

使用者が事故以前からぐらつきを感じていたことや、ねじの締め直しを数回、コインを用いて行っていたことから、十分な締め付け力が得られずにねじが緩み、がたつきが生じたことにより亀裂が発生し、疲労破壊により脚が折れ、事故に至ったものと推定される。

② 踏み台による事故

- ・ 2012年10月、千葉県、重傷

(事故内容)

使用者が踏み台の天板に乗って自動車の屋根を拭いていたところ、右側方向に転倒し、負傷した。

(事故原因)

踏み台に破断に至る異常は認められず、破断した脚部に製品内側方向に力が加わった痕跡が認められたことから、踏み台のバランスが崩れて使用者が転倒する際に、身体の一部がぶつかって支柱が内側に曲がったものと考えられる。

③ 車いすによる事故

- ・ 2016年2月、東京都、重傷

(事故内容)

病院で使用者(90歳代)が車いすに乗車中、落下物を拾おうとして、転倒し、負傷した。

(事故原因)

車いすに乗った使用者が落下物を拾おうとした際、バランスを崩して転倒したものと推定される。また、経緯は不明であるが誤った位置に車軸が取り付けられ、座面位置が変更されていたところ、取扱説明書や本体の注意表示に「座面高さ変更のために車軸位置を変える際は専門の販売店に相談する」旨が記載されておらず、販売店への周知が徹底されていなかったことも事故発生に影響したものと考えられる。

2. 高齢者が被害者となった屋内の事故の再現実験映像について

以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

(1) 実験映像内容

- ① 高齢者がカーペットラグで滑って転倒 (2. (2) 写真1)
- ② 高齢者が作業中に転倒 (2. (2) 写真2)

(2) 実験映像例



写真1. 高齢者がカーペットラグで滑って転倒

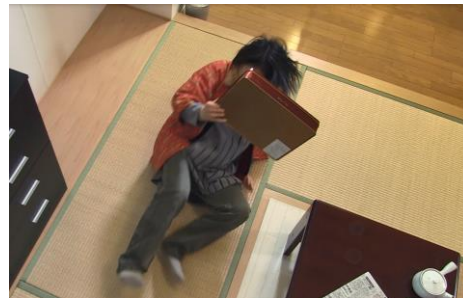


写真2. 高齢者が作業中に転倒

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：松本（まつもと）、佐藤（さとう）

電話：03-3481-1820